

社 報



個人の能力を高める

コンピューター

時代はすでに、コンピューターなしでのビジネスを許しません。文書・図面・計算など、ほとんどの仕事がコンピューターで行われています。

インターネットを経由して、すさまじい情報が行き来し、メールによるネット通信も、ビジネスの世界でなくてはならないものです。

これからも、益々必要不可欠な存在です。



あけましておめでとうございます
今年もよろしくお祈りします

日本人は年の始めである、1月1日をケジメとして、前年を反省し、今年の目標を掲げます。会社であれば、売上目標 円、であるとか、利益目標 円など、前年の経営数値を参考として、%アップなどと目標を立てます。

目標を立てることは、有意義でありますし、大きな目標に向かって皆で前進するというのは、言葉の響きも気持ちの良いものです。

しかし、モノゴトは売上・利益などのように数値化できるものばかりではありません。お得意先からの評価にしても、当社全体に対してであったり、当社の担当者個人に対してであったり、対象が様々でありますし、その評価については、とても数値化できるようなものではありません。

お得意先から、「良くてくれた。ありがとう。次もまた頼むよ。」という、ありがたい言葉を頂いたとしても、オープンチャラが混じっていたりすることもありますので、言葉通りに受け止めて良いというものでもありません。

たとえそういう言葉をいただいたとしても、至らぬ点を数え、反省し、次の仕事に生かして、次もまた、お褒め言葉がいただけるように精進するのが

本当のプロではないかと思えます。

プロ野球でも、前年の良い成績が必ず今年につながって、前年よりも良い成績が上げられるだろうなどと、慢心すれば、途端に成績は下降線になることは間違いのないのです。

このことは小学生でも知っています。

しかし、こと自分の身に置き換えて考えてみるとどうでしょう。

自分の欠点や短所を見つけることは大変難しく、さらにそれを反省して、自身の仕事振りを変えとなると、本当に大変なことです。

一朝一夕に大変身など、できる訳もありません。

が、少しずつの努力を積み重ねていくことで、徐々にできる能力を増やしていくことはできます。

「去年もこれで行けたし……」「ここまでがオレの仕事範囲……」とか、自身で自分の仕事を制限していることもあるかもしれません。

会社とは人の集まりです。組織力などチームワークの力が大きいことは重要ですが、集合している人々の個人の能力が高いことは素晴らしい力になります。

そして、その能力を伸ばし磨くのは、本人以外の何者でもありません。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

2008年安全方針 整理整頓！

人間の能力は鍛えると伸びるとはいえ、やはりどこかには限界があります。限られた能力と言え、語弊があるかも知れませんが、それでも能力には限界があります。

限られた能力は有効に使わねばなりません。その基本が整理整頓にあります。

情報・モノ・金、いずれにしても、

整理整頓をきちんと行うことで見やすくなります。不要なモノを捨て、整理することで、必要なものだけを得ることが出来ます。そうすると、間違いが少なくなり、仕事の効率が上がります。

整頓を行って、順序づけやルール付けを行うことによって、さらに仕事の効率は向上します。

整理整頓の効果です。

2007年 安全成績（完了）

現場災害 H19.1.1-H19.12.31	
休業災害	----- 3
不休災害	----- 2
物損災害	----- 0
その他	----- 1
合計	----- 6
交通災害 H19.1.1-H19.12.31	
人身災害	----- 1
物損災害	----- 0
合計	----- 1